



7月号 No.281

令和8年7月1日発行

「当コミュニティ委員会は、新潟市地域活動補助金を受けて事業を実施しています。」

ながauraコミュニティだより



長浦コミセン
公式LINE

長浦コミュニティ委員会（長浦コミセン） 〒950-3338 新潟市北区長場 1834-1

TEL 025-387-2061 FAX 025-386-7495 ※月曜・祝日は休館日です

☆連絡先の記載がないものは全て長浦コミセンへご連絡ください。

E-mail アドレス nagaura-comi@sea.plala.or.jp



「防災講習会」が開催されました

6/7(日)10時～12時、多目的ホールに地域の方51人が集まり防災講習会が開催されました。講習会の内容は「避難所運営の研修を受け地区の防災力を高める」で、講師に中越防災安全推進機構の野村卓也氏をお迎えしました。講師から出された課題をグループで協議して意見を統一し、発表という形式で行われました。どのグループも大変活発に意見交換をしていました。アンケート結果も大変好評で、来年度も継続して欲しいとのご意見をたくさんいただきました。



<区長と語る会>が開催されます

今年も、区長と語る会～長浦地区懇談会～を下記の日程で開催します。どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は長浦コミュニティセンターへ申込みをお願いします。

日時：7月28日(火) 10:00～12:00

会場：長浦コミュニティセンター

定員5名 申込み締切 7/24(金)

3B体操 無料体験会!

3B体操とは、年齢問わず誰でも楽しめる体操です。ボール、ベル、ベルターと頭文字にBのつく道具を使い老若男女どなたでも気軽に楽しめる体操です。まずは体験会からはじめませんか。

日時：7/14(火)、7/21(火)

13:30～14:45 どちらに参加してもOK

会場：長浦コミュニティセンター

講師：公認指導者 金桶布志代

持ち物：内履き、動きやすい服装、

水分、タオル、ヨガマット

申込み：講師 金桶まで 090-7848-8297



主催：長浦コミュニティ委員会文化体育部

真夏の陶芸教室



日時：8月9日(日)

10:00～12:00

会場：長浦コミュニティセンター

講師：渡辺 智子 先生（あすなろ陶房）

参加費：1,800円（粘土、焼成費含む）

☆作品は約800gの粘土で好きなものを作ります。（小さいカップなら2個作れます）



持ち物：手ぬぐいやタオル、

エプロン又は汚れてもいい服装

その他：4年生以下は、保護者同伴でお願いします。作品は、11/14～15に開催される長浦文化祭で展示した後にお返しします。

定員20名 締切 7/31(金)

申込み問合せ 長浦コミュニティセンターまで

TEL 025-387-2061

知っ得! 食のミニ教室

野菜DEちょい塩生活のすすめ

日時：8月18日(火) 10:00～12:00
受付 9:40～

会場：長浦コミュニティセンター

内容：栄養士の講話、簡単な体操、調理実習（あっさり減塩冷しゃぶサラダ、トマトときのこのスープ他）

持ち物：エプロン、三角巾、筆記用具

参加費：500円 定員 先着10名

申込み：北区健康福祉課健康増進係

TEL 025-387-1340

申込期間：7/8(水)～7/28(火)





第57回長浦芸能まつり

令和8年7月5日(日)

午後1時00分 開演(開場は12時00分)

会場:長浦コミュニティセンター

☆観覧は無料です



今年も『長浦芸能まつり』が長浦コミュニティセンターで開催されます。三弦会の『津軽の唄こメドレー』からはじまり6組のみなさんの唄や踊り、三味線が披露されます。

問合せ 長浦芸能愛好会 金井まで
電話:025-386-7507

☆プログラムは長浦コミセンにもあります

肺がん検診のご案内

予約は不要です

問合せ 北区健康福祉課 TEL025-387-1340

月 日	受付時間	会 場	その他
7/7(火)	9:00~11:00	岡方コミュニティセンター	・対象年齢は40歳以上です。 (R9.3.31現在の年齢)
	13:30~14:00	内沼公民館	
7/10(金)	9:00~11:00	長浦コミュニティセンター	・ファスナーやボタンのない 無地のTシャツでおこしく ださい。
	13:30~14:00	上大月公民館	
7/29(水)	9:00~11:00	北区役所1階 交流スペース	・検診着の利用は有料です。 (200円)
	13:00~15:00	北区役所1階 交流スペース (女性専用)	
7/30(木)	9:00~10:00	岡方第二小学校	
	11:00~11:30	シルバー人材センター北事務所	

持ち物 加入健康保険の資格がわかるもの(マイナ保険証、資格確認書のいずれか)、
がん検診受診券、自己負担金、個人記録票(がん検診)



アレコレ長浦 No.25

～里飯野神社、続編から今・未来へ。～

里飯野自治会長
高橋 重雄

前回、里飯野神社拝殿の彫刻を紹介しましたが、今回は神社境内にある石仏にまつわる伝承を紹介します。鎌倉時代、出湯の華報寺を中心とする五頭山麓一帯には最盛期には4つの院と30を超える坊が建っていたと言われています。この石仏はそこから広まって死者に対する供養塔婆として南北朝時代から室町時代に作られたものだそうです。その石仏は、旧豊栄南小学校近くの城之瀉遺跡付近から出たもので、城之瀉には、「長場館」「里飯野の館」と言われる館があり、鎮守の旦飯野神社がこの館に勧請(神社の心霊を分けて新設した神殿に迎え入れること)され、小祠が城館の正面にあったので、「里飯野の館」と呼ばれていたと博物館設置の現地説明板やウェブサイトなどに記載されています。その後、現在の里飯野神社の場所に移ったと考えられます。明治16年新潟県がまとめた神社明細帳には、旦飯野神社が里飯野にあったと記載されています。さて、今までのお話で、昔からのいろいろな言い伝え等がありますが、私たちも何かを残して、未来に繋いでいければいいと思っています。私が今の子ども達(小学生・中学生)に「ありがたい」と思えることは、挨拶です。何処で会っても、朝は「おはようございます」夕方には、「こんにちは」と子ども達から声を掛けられることです。私達大人も誰に対しても挨拶が出来ると良いと思います。少子高齢化が今後進んでいきます。誰とでも言葉を交わせる世の中になると良いと思います。他愛もない会話で、この地域が少しでも明るくなることを願っています。



里飯野神社境内にある石仏です

【次は、岡新田自治会さんへバトンをお渡しします。】

